

かしそく新聞

～訪問診療 編～

かつしか心身総合クリニック

「かかりつけ医」として在宅療養をサポート致します。

【★★脳神経疾患と在宅診療★★】

▽脳神経内科は、脳と神経系に関係する疾患に対応する科です。認知症(アルツハイマー病、びまん性レビー小体病、前側頭葉型認知症、脳血管性認知症)、脳梗塞、パーキンソン病、パーキンソン症候群(多系統萎縮症、進行性核上性麻痺)、筋疾患、てんかん等を主に対応します。全国レベルでは、認知症は600万人、脳梗塞は110万人、パーキンソン病は20万人おり、超高齢化社会を迎え、さらに数は増えてきています。これらの疾患に対しては、患者さんたちは長くお付き合いすることになります。また、歩行に影響が出るのが多く、歩くのがたいへんになる、通院や外出そのものがしづらくなることがあります。そういったときに在宅診療を利用していただくと、自宅にいながら、医師や看護師の診察を受けることができる、検査や処方を受けることができるというメリットがあります。体の不調が出た場合に、できるだけ早く対応することができます。

▽認知症の関連症状については、進行を遅らせる薬、いらいらやそわそわが出たときに気持ちを穏やかにする薬などを検討します。パーキンソン病やパーキンソン症候群は、抗パーキンソン病薬、リハビリテーションを導入します。脳梗塞後遺症の方々の場合、生活習慣病を背景に持つことが多く、それらの対応も同時に行い、かつリハビリテーションも促します。デイケアやデイサービスといった福祉的なサポートへの連携も取りまします。訪問看護師との連携により、正確な病態の把握に努めます。

▽自宅における患者さんの生活の「質」を高めることを目指します。より良い生活環境を送れるようにする、適切な内服の選択をより良いタイミングで導入するように、専門医の視点からサポートさせていただきます。(西岡健弥医師)

編集後記～スタッフのつぶやき～

「訪問診療」というと、どのようなイメージをお持ちでしょうか？コロナ禍で、求人が以前に比べて激減しております。そこで仕事の内容について、少しご説明したいと思います。文字通り、医師と一緒に患者様のもとへ「訪問」して診療するのですが、少し遠い場所もあり、車の運転免許、運転は必須です。また、訪問先は自宅とは限らず、施設も患者様の住居になります。それぞれに医師の補助をしながら回ります。そのほか、病診連携も行います。興味があり、「働いてみたい」人がおりましたら、ぜひご連絡ください！(K)

医療財団法人ファミリーユ

かつしか心身総合クリニック

〒125-0041 葛飾区東金町1-41-1 桜井ビル2階

① 外来：心療内科＝大川院長、永井妻子副院長
内科＝駒形清則医師(第2・第4火曜のみ)

②訪問診療

内科＝駒形清則医師

駒形明紀医師(非常勤)

精神科＝米谷充医師(非常勤)

神経内科＝今井壽正医師、西岡健弥医師(非常勤)

※詳しくはホームページをご覧ください。お電話にてお問い合わせ下さい。

電話 03-3627-0233